

(仮称)第3次茨木市男女共同参画計画 数値目標(案)

■ 基本方向Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革

【成果指標】

番号	指標名	第2次計画(改訂版)策定時	目標値(2021)	現状値	評価		目標値(2027)	備考
					計画策定時と比較	目標値と比較		
1	「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担の考え方に「反対・どちらかといえば反対」という人の割合	女性49.3% 男性39.1% (市民意識調査)	女性75% 男性55%	女性61.4% 男性56.0% (市民意識調査)	↑	(女性) ↓ (男性) ↑	女性75% 男性75%	・第2次計画(改訂版)の女性の目標値を継続して設定 ・男女の目標値を統一
2	男女共同参画社会推進登録団体数	17団体 (2015年)	22団体	15団体 (2022.4.1)	↓	↓	22団体	第2次計画(改訂版)の目標値を継続して設定

【活動指標】

3	男女共同参画に関する講座の実施回数と事業に参加した子どもの人数	25回/年、 1,502人 (2015年)	30回/年、 2,000人	22回/332人 (2021年)	↓	↓	30回/年、 2,000人	第2次計画(改訂版)の目標値を継続して設定
4	ローズWAMの男女共同参画に関する図書等の貸出冊数	6,024冊 (2015年)	6,600冊	4889冊 (2021年)	↓	↓	6,600冊	第2次計画(改訂版)の目標値を継続して設定
5	再就職セミナーや女性のためのスキルアップ講座の実施回数	23回/年 (2015年)	25回/年	17回 (2021年)	↓	↓	25回/年	第2次計画(改訂版)の目標値を継続して設定
6	男性の生活能力向上のための講座や事業の実施回数と参加人数	351回/年、 2,561人 (2015年)	390回/年、 2,800人	167回/907人 (2021年)	↓	↓	390回/年、 2,800人	第2次計画(改訂版)の目標値を継続して設定

■ 基本方向Ⅱ 方針の立案・決定過程への女性の参画拡大

【成果指標】

番号	指標名	第2次計画(改訂版)策定時	目標値(2021)	現状値	評価		目標値(2027)	備考
					計画策定時と比較	目標値と比較		
7	市の審議会等における女性委員の割合	32.3% (2016.4.1)	40%	34.9% (2022.4.1)	↑	↓	40%	国の「第5次男女共同参画基本計画」の目標値を参考に設定
8	管理的地位にある職員に占める女性職員の割合 ※管理的地位にある職員・・・課長級以上の職員	12% (2016.4.1)	20%	16.2% (2022.4.1)	↑	↓	20%	・「茨木市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画(2021～2025年度)」の目標値を引用(一般行政職を含む全職員) ・なお2026年度以降は、次期計画の目標値を適用
9	市立小・中学校長・教頭における女性の割合	16.3% (2016.4.1)	25%	21.74% (2022.4.1)	↑	↓	27%	大阪府の「公立学校における特定事業主行動計画」の目標値及び第2次計画の策定時から現状値までの伸び率を参考に設定
10	自治会長における女性の割合	16.8% (2015年)	20%	23.5% (2022.5.1)	↑	↑	検討中	
11	自主防災組織の方針決定過程への女性の参画率	23.1% (2015年)	35%	27.0% (2022.4.1)	↑	↓	35%	第2次計画(改訂版)の目標値を継続

■ 基本方向Ⅲ 職業生活の充実とワーク・ライフ・バランスの推進

【成果指標】

番号	指標名	第2次計画(改訂版)策定時	目標値(2021)	現状値	評価		目標値(2027)	備考
					計画策定時と比較	目標値と比較		
12	25歳～44歳の女性の就業率【新規】	-	-	61.1% (2021年)	-	-	78%	国の2021年の現状値を設定
13	「仕事」「家庭や地域活動」「個人の生活」など、現実と希望が一致した暮らし方をしている人の割合	女性38.5% 男性37.2% (市民意識調査)	女性70% 男性70%	女性48.4% 男性53.2% (市民意識調査)	↑	↓	女性70% 男性70%	・第2次計画(改訂版)の目標値を継続
14	市における男性職員の育児休業取得者率	2.2% (2015年)	10%	22.2% (2021年)	↑	↑	10%を安定的に上回る	・「茨木市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画(2021～2025年度)」の目標値(10%)を達成したため、安定的に目標値を上回ることを目標とする。 ・なお2026年度以降は、次期計画の目標値(一般行政職を含む全職員)を適用

【活動指標】

15	パパ&ママクラスのカップルの参加率	82.1% (2015年)	85%	75.3% (2021年)	↓	↓	85%	第2次計画(改訂版)の目標値を継続して設定
----	-------------------	------------------	-----	------------------	---	---	-----	-----------------------

■ 基本方向Ⅳ 多様な立場の人々が安心して暮らせる環境の整備

【成果指標】

番号	指標名	第2次計画(改訂版)策定時	目標値(2021)	現状値	評価		目標値(2027)	備考	
					計画策定時と比較	目標値と比較			
16	DVやデートDVにおいて、次のような行為を「どんな場合でも暴力にあたると思う」割合【新規】	「何を言っても長時間無視し続ける」	-	-	48.9% (市民意識調査)	-	-	70%	市民意識調査の現状値を参考にして算出
		「大声でどなる」	-	-	56.1% (市民意識調査)	-	-	70%	
		「交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する」	-	-	60.2% (市民意識調査)	-	-	70%	
17	暴力を受けた際「相談したかったが、しなかった(できなかった)」「相談しようと思わなかった」割合【新規】	-	-	50.4% (市民意識調査)	-	-	減少	市民意識調査の現状値を参考にして算出	
18	「女性であること」または「男性であること」によって、負担感や生きづらさを感じたことがある人の割合【新規】	-	-	女性 42.2% 男性 17.3% (市民意識調査)	-	-	減少	市民意識調査の現状値を参考にして算出	
19	乳がん・子宮がん検診受診率	乳がん 16.8% 子宮がん20.1% (2015年)	乳がん 45% 子宮がん 45%	乳がん 12.4% 子宮がん16.5% (2021年)	↓	↓	乳がん 45% 子宮がん45%	「健康いばらき21・食育推進計画(第3次)(2018~2023年度)」の目標値を引用	

【活動指標】

20	女性に対する暴力防止の啓発や講座の実施回数と参加人数	6回/年、373人 (2015年)	10回/年 650人	10回/327人 (2021年)	↓	↓	10回/年 650人	第2次計画(改訂版)の目標値を継続して設定
21	子ども・若者へのデートDV防止啓発や講座の実施回数と参加人数	18回/年、 3,956人 (2015年)	27回/年 6,000人	3回/3,440人 (2021年)	↓	↓	27回/年 6,000人	第2次計画(改訂版)の目標値を継続して設定